

令和6年度公民館 事業状況

1 施設の利用状況

單位：件/人

公民館	件数	人数
上尾	3, 575	46, 042
上平	3, 739	38, 341
平方	2, 409	20, 595
原市	2, 503	21, 264
大石	3, 077	35, 084
大谷	2, 599	29, 763
合計	17, 902	191, 089

主催事業

上段事業数（件）/下段延べ参加人数（人）

公民館	学習機会の提供								成果の活用	合計
	きっかけを作る学び						連携・協働した学び	地域に向き合う学び		
	世代別	一般教養	文化・芸術	健康スポーツ	家庭生活	人権教育				
上尾	5	3	2	2	3	1	3	1	1	21
	127	93	81	71	61	29	128	16	—	606
上平	5	4	2	4	3	1	3	2	2	26
	73	106	65	103	74	12	115	27	—	575
平方	5	3	5	2	3	1	3	2	1	25
	131	34	284	116	127	20	108	37	—	857
原市	5	3	6	2	3	1	2	3	1	26
	222	121	196	88	56	24	410	36	—	1153
大石	5	3	4	3	2	1	1	3	1	23
	178	127	285	168	34	22	722	75	—	1611
大谷	5	2	3	3	2	1	2	2	1	21
	98	52	236	77	71	11	63	48	—	656
※ 中止した事業については、公民館事業記録集をご参照ください。									合計	142
										5458

令和6年度 公民館事業評価

〈施策の柱1-1〉きっかけをつくる

評価項目	点数	達成度	補足
各講座事業の実施	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:各事業実施 b:未実施の事業が1つある c:未実施の事業が2つある d:未実施の事業が3つ以上ある
講座の満足度	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:「満足」が70%以上 b:「やや満足」以上が70%以上 c:「やや満足」以上が50%以上 d:「やや満足」以上が50%未満
特色ある講座や講座開催方法の取り組み	20	a:20 b:10 c:0	a:取り組んだ b:検討中 c:取り組まなかった
住民ニーズの把握・見直しの実施	20	a:20 b:10 c:0	a:全ての事業で実施した b:80%以上の事業で実施した c:実施していない事業が多くある

評価・合計点数
A:80点以上
B:60点以上
C:40点以上
D:40点未満

		上 尾		上 平		平 方		原 市		大 石		大 谷		
基本目標1	施策の柱1-1 きょうかけをつくる	各講座事業の実施	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30	b:未実施の事業が1つある	20	a:各事業実施	30	c:未実施の事業が2つある	10
			計画した全ての講座を実施した。		ライフステージや学習スタイルに応じた事業を計画し、全ての事業を実施した。		計画した全ての講座を実施した。また、定員を超える応募があった講座については、講師と相談して参加者を増やす対応を行った。		「春休み子ども教室」～はじめてのちぎり絵体験～は、応募者が集まらず中止とした。3月27日開催の時期に問題があり、改善していきたい。		計画した講座はすべて実施した。		福祉に関する教育・啓発と今日的課題の学びは計画しなかった。	
		講座の満足度	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30
			どの講座も概ね好評だった。引き続き、参加者が満足できる講座を実施していきたい。		各講座とも満足度が高かった。		アンケート結果では「満足」が90%となった。今後もコンサートなど、参加者の多い講座のアンケート回収率の向上に取り組む。		どの講座も概ね好評だった。引き続き、参加者が満足できる講座を実施していきたい。		全体を通して満足度は高く、全参加者を対象とするとアンケートでは「満足」は78%となった。		87.4%が満足と答えた。	
		特色ある講座や講座開催方法の取り組み	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20
			多世代にわたる多くの講座を実施することができた。特に、「脳活エクササイズ」では、ライフキネティックという運動と脳トレを組み合わせたエクササイズを実施した。		未就学児とその保護者が、絵本の読み聞かせやゲームなどを通じて英語に親しむ事業として「えいごであそぼう!」を開催した。		脳トレミュージックの講座を「歌」「ベル」「ピアノ」の3回実施したことで、脳トレに効果的な機会を提供した。結果として、新しいサークルの立ち上げにつながった。		「はらいち寄席」を開催し、多くの方に笑いをお届けすることができた。今後も特色ある講座を実施していきたい。		音楽講座 ギターの調べ～ギターで奏でる懐かしのメロディーとして昭和歌謡のミニコンサートを開き大盛況だった。		展示ホール(ロビー)にステージを設置し、ゴスペルコンサートを開催した。事前にゴスペル講座を実施し、受講生に出演してもらい成果の発表の場とした。	
		住民ニーズの把握・見直し	a:全ての事業で実施した	20	a:全ての事業で実施した	20	b:80%以上の事業で実施した	10	a:全ての事業で実施した	20	b:80%以上の事業で実施した	10	a:全ての事業で実施した	20
			講座実施後、アンケート結果を基に公民館職員全員で講座の見直しを行い、住民ニーズの把握に努めた。		各講座終了後に行うアンケートを結果を共有して、住民ニーズを把握し、以後の事業計画に活かすよう努めた。		講座終了後の参加者の声や、前年度のアンケート結果を基に講座事業の見直しを行った。		講座実施後のアンケート結果を基に、住民ニーズの把握に努めた。今後の講座の見直しに反映させ、来年度以降に計画する事業に活かしていきたい。		講座終了後のアンケートに基づき、今後の事業計画に生かしている。ニーズ把握に努めている。		アンケート結果や応募状況をもとに講座内容を検討し改善に努めている。	
評価・合計点数		A:80点以上	100	A:80点以上	100	A:80点以上	90	A:80点以上	90	A:80点以上	90	A:80点以上	80	

〈施策の柱1-2〉人と地域の絆をつくる

評価項目	点数	達成度	補足
各講座事業の実施	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:各事業実施 b:未実施の事業が1つある c:未実施の事業が2つある d:未実施の事業が3つ以上ある
講座の満足度	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:「満足」が70%以上 b:「やや満足」以上が70%以上 c:「やや満足」以上が50%以上 d:「やや満足」以上が50%未満
特色ある講座や講座開催方法の取り組み	20	a:20 b:10 c:0	a:取り組んだ b:検討中 c:取り組まなかった
住民ニーズの把握・見直しの実施	20	a:20 b:10 c:0	a:全ての事業で実施した b:80%以上の事業で実施した c:実施していない事業が多くある

評価・合計点数
A:80点以上
B:60点以上
C:40点以上
D:40点未満

		上 尾		上 平		平 方		原 市		大 石		大 谷		
基本目標1 つくる	施策の柱1ー2 人と地域の絆をつくる	各講座事業の実施	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30	c:未実施の事業が2つある	10
			計画した全ての講座を実施した。		郷土理解、人権教育、行政課題にテーマとした事業を計画し、全ての事業を実施した。		計画した全ての講座を実施した。		計画した全ての講座を実施した。		人権、郷土、各課との連携事業を実施した。		郷土理解事業は文化財の啓発・活用を兼ねて実施。関係各課と連携した講座はライフステージに応じた学びを兼ねて実施した。	
		講座の満足度	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30
			概ね好評だった。引き続き、参加者が満足できる講座を実施していきたい。		各講座とも満足度が高かった。		アンケート提出者の評価は高く、「満足」が75%となった。		「災害・防災と男女共同参画～男女共同参画から見た防災対策～」では、81%の参加者が「満足」と回答。引き続き、参加者が満足できる講座を実施していきたい。		それぞれ満足度は87%以上となった。		80%の人が満足と回答した。	
		特色ある講座や講座開催方法の取り組み	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20
			文学から人権を考える講座を実施した。人権教育にかかる1講座の実施であったため、今後、講座数を増やしていきたい。		人権教育に関して、災害時のデマや流言について取り上げ、人権侵害について考える機会をつくった。		人権教育講座では、映画の見方を学ぶことで言葉を越えた心の動き、リーダーの行動学を学んだ。		歴史講座では、原市地域から発掘された出土品（貝塚や土器など）を知り、当時の時代背景を学ぶことができた。		郷土の無形文化財である「ささら獅子舞」を取り上げ、子供から成人を対象に地元にある文化財の魅力を感じてもらう。		ゼロカーボンシティ宣言市として脱炭素の取り組みを啓発する事業を環境政策課と連携して開催した。	
		住民ニーズの把握・見直し	a:全ての事業で実施した	20	a:全ての事業で実施した	20	a:全ての事業で実施した	20	a:全ての事業で実施した	20	b:80%以上の事業で実施した	10	a:全ての事業で実施した	20
講座実施後、アンケート結果を基に公民館職員全員で講座の見直しを行い、住民ニーズの把握に努めた。			各講座終了後に行うアンケートを結果を共有して、住民ニーズを把握し、以後の事業計画に活かすよう努めた。		市民ニーズの少ない分野であっても、講座内容の着眼点を見直しながら成果の向上を図る。		講座実施後のアンケート結果を基に、住民ニーズの把握に努めた。今後の講座の見直しに反映させ、来年度以降に計画する事業に活かしていきたい。		人権講座については、広くニーズの把握に努める必要がある。		アンケート結果や応募状況をもとに講座内容を検討し改善に努めている。			
評価・合計点数		A:80点以上	100	A:80点以上	100	A:80点以上	100	A:80点以上	100	A:80点以上	90	A:80点以上	80	

〈施策の柱2-2）活動を支える

評価項目	点数	達成度	補足
学習成果発表機会（公民館まつり等）の提供	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:希望する団体全てが参加できた b:団体を限る等制限を行って実施した c:計画はしたが実施しなかった d:実施も計画もしなかった
学習成果発表機会の環境整備	20	a:20 b:10 c:0	a:取り組んだ b:一部取り組んだ c:取り組んでいない
新たな情報発信への取り組み	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:取り組んだ b:取組予定 c:検討中 d:取り組んでいない
学習機会の提供	20	a:20 b:10 c:0	a:毎月行っている b:毎月ではないが行っている c:ほとんど行っていない

評価・合計点数
A:80点以上
B:60点以上
C:40点以上
D:40点未満

		上 尾		上 平		平 方		原 市		大 石		大 谷		
基本目標2 支える	施策の柱2-2 活動を支える	学習成果発表機会（公民館まつり等）の提供	a:希望する団体が全て参加できた	30	a:希望する団体が全て参加できた	30	a:希望する団体が全て参加できた	30	a:希望する団体が全て参加できた	30	b:団体を限る等制限を行って実施した	20	b:団体を限る等制限を行って実施した	20
			「第47回上尾公民館まつり」を2日間にわたり、実施した。		作品展示発表会、音楽グループコンサートを実施し、希望するすべての団体が参加できた。		当公民館で活動するサークルの展示会・発表会を11月16日に同時開催した。		「サークル作品展示・発表会」を実施した。昨年度より展示・発表会とも参加サークルは増え、今年は太極拳などの実技サークルも参加し、見学者が実技に参加する場面も見受けられた。		コロナ禍以降、本格的に模擬店等すべての事業を再開した。		体育室での演技発表に限定して応募した。	
		学習成果発表機会の環境整備	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20
			作品展示や実技発表が適切に行えるよう、限られたスペースの中で、参加団体の理解を得ながら実施することができた。		作品展示発表会・音楽グループコンサートの両事業では、新たな分野の発表グループの参加を促した。		展示会期間中に発表会を開催することで、相乗効果を高めることができた。		作品展示が行えるよう、展示スペースの確保や密にならないように工夫するとともに展示期間をとったことで、途中で展示替えを行うサークルもあり、活動意欲向上に繋がった。		各サークルの活動が継続できるよう、展示スペースを確保する等した。		参加団体の高齢化に配慮した役務分担をし、参加しやすい環境を整えた。	
		新たな情報発信への取り組み	c:検討中	10	a:取り組んだ	30	a:取り組んだ	30	a:取り組んだ	30	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	30
			現在、広報・市ホームページ・チラシの配布で講座の発信をしているが、幅広い世代に来館してもらえるような発信方法を検討している。		生涯学習関連のより多くの情報が提供できるよう、パンフレットラックを整備した。		前年度の講座全てのポスターや参加者の感想などを館内に掲示し、講座受講の魅力をPRした。また、講座内容に応じて自治会にチラシを回覧した。		広報あげお・市ホームページ・チラシの配布で講座の発信をしている。小学生対象の事業については、原市小学校のさくらメールで配信してもらったものもある。発信方法については今後も検討していく。		広報誌・市ホームページ・チラシにより、講座情報の発信をしている。より幅広い世代に来館してもらいたいので、引き続き発信方法を検討している。		ホームページに館内写真を掲載し、部屋の様子がわかるようにした。応募フォームからの講座申込ができるようにした。	
		学習機会の提供	a:毎月行っている	20	b:毎月ではないが行っている	10	b:毎月ではないが行っている	10	a:毎月行っている	20	a:毎月行っている	20	a:毎月行っている	20
			窓口や電話でサークルの紹介や講座の情報を提供した。		年間を通じて、窓口や電話等でサークル情報の提供を行っている。		窓口を中心にサークルの紹介や講座情報を提供した。また、新規サークルの立ち上げなどについてサポートした。		年間を通して、窓口や電話でサークルの紹介や講座の情報を提供した。また、講座から新規サークルを立ち上げるサポートを行った。		サークルのチラシを印刷配布などの他、窓口や電話でサークルの紹介や講座の情報を提供した。		サークルの募集案内掲示や問い合わせへの紹介など年間を通して行った。学習コーナーを設置している。	
評価・合計点数		A:80点以上	80	A:80点以上	90	A:80点以上	90	A:80点以上	100	A:80点以上	80	A:80点以上	90	

〈施策の柱2-3〉

評価項目	点数	達成度	補足
公共施設日常点検の実施	20	a:20 b:15 c:10 d:0	a:毎日実施 b:定期的に実施 c:不定期に実施 d:未実施（未提出）
消防点検の実施	20	a:20 b:10 c:0	a:定期的に実施 b:不定期に実施 c:未実施（未提出）
修繕・改修の実施	40	a:40 b:30 c:20 d:0	a:全ての不具合を解消 b:利用できる状態に保たれている c:利用に制限をかける箇所がある d:未実施
備品管理	20	a:20 b:15 c:10 d:0	a:70％以上実施 b:50％以上実施 c:30％以上実施 d:30％未満実施

評価・合計点数
A:80点以上
B:60点以上
C:40点以上
D:40点未満

		上 尾		上 平		平 方		原 市		大 石		大 谷				
基本目標2 支える	施策の柱2－3 学びの場を支える	公共施設日常点検の実施	a:毎日実施	20	a:毎日実施	20	b:定期的に実施	15	a:毎日実施	20	b:定期的に実施	15	a:毎日実施	20		
			平日については、点検を毎日実施し、チェックシートを提出している。		平日には、毎日点検を実施している。		施設設備の状態や衛生環境などを定期的に点検している。		職員により日常的に施設の点検を実施している。		掃除を兼ねた毎日の点検を実施している。また、毎月1回公共施設日常点検チェックシートを作成、提出している。		職員及び警備員、清掃員による日常点検の実施			
		消防点検の実施	a:定期的 to 実施	20	a:定期的 to 実施	20	a:定期的 to 実施	20	a:定期的 to 実施	20	a:定期的 to 実施	20	a:定期的 to 実施	20		
			毎月点検を実施し、チェックシートを提出している。		消防計画に基づき、日常的に自主点検を実施している。		毎月点検を実施し、年2回総合点検を実施した。		毎月点検を実施し、チェックリストを提出している。		消火器の位置、火災の場合の役割分担などについて確認。また警備員の協力を得て毎日すべての点検を行っている。		職員による日常点検の実施及び法定点検の実施			
		修繕・改修の実施	a:70%以上実施	40	b:50%以上実施	30	a:70%以上実施	40	a:70%以上実施	40	a:70%以上実施	40	a:70%以上実施	40	b:50%以上実施	30
			あげお富士住建ホール(文化センター)が管理しているため、上尾公民館では修繕を実施していない。必要な場合は、生涯学習課で修繕を実施している。		利用者の安全にかかわる修繕を中心に、予算の範囲内で実施している。		非常用放送設備を更新した。		施設の老朽化に伴い、事例ごとに、その都度対応している。		事務室流し台及びドア修繕実施。修繕箇所などを把握しその都度点検改修している。		危険木の伐採及び体育室ドアクローザーや調理室オープンなど軽微な修繕は迅速に対応した。			
	備品管理	a:70%以上実施	20	a:70%以上実施	20	a:70%以上実施	20	a:70%以上実施	20	a:70%以上実施	20	a:70%以上実施	20	a:70%以上実施	20	
適切な備品管理ができた。		適切な備品管理を行っている、		音響設備のBluetooth対応など、適切な備品管理を行うことができた。		適切な備品管理ができた。		適切な備品管理ができた。		適切な備品管理ができた。						
評価・合計点数		A:80点以上	100	A:80点以上	90	A:80点以上	95	A:80点以上	100	A:80点以上	95	A:80点以上	90			

〈施策の柱3-2〉産学官民をつなぐ

評価項目	点数	達成度	補足
各講座事業の実施	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:各事業実施 b:未実施の事業が1つある c:未実施の事業が2つある d:未実施の事業が3つ以上ある
講座の満足度	30	a:30 b:20 c:10 d:0	a:「満足」が70%以上 b:「やや満足」以上が70%以上 c:「やや満足」以上が50%以上 d:「やや満足」以上が50%未満
特色ある講座や講座開催方法の取り組み	20	a:20 b:10 c:0	a:取り組んだ b:検討中 c:取り組まなかった
住民ニーズの把握・見直しの実施	20	a:20 b:10 c:0	a:全ての事業で実施した b:80%以上の事業で実施した c:実施していない事業が多くある

評価・合計点数
A:80点以上
B:60点以上
C:40点以上
D:40点未満

		上 尾		上 平		平 方		原 市		大 石		大 谷		
基本目標3 つなぐ	施策の柱3―2 産学官民をつなぐ	各講座事業の実施	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30	a:各事業実施	30
			全ての講座を実施した。		大学等研究機関、地域団体、民間企業と連携した事業を実施している。		学校・家庭・地域との連携について、計画通り事業を実施した。		大学等との連携、学校・家庭・地域との連携のついて、計画通り事業を実施した。		電気保安協会、地域団体等との連携事業を実施した。		大学、地域団体、企業とまんべんなく事業を実施した。	
		講座の満足度	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	a:「満足」が70%以上	30	b:「やや満足」以上が70%以上	20
			どの講座も概ね好評だった。引き続き、参加者が満足できる講座を実施していきたい。		各講座とも満足度が高かった。		アンケート提出者の評価は高く、「満足」が84%となった。		どの講座も概ね好評だった。引き続き、参加者が満足できる講座を実施していきたい。		どの講座もアンケート提出者の評価は高く、全参加者を対象とするとアンケートでは「満足」は90%となった。		満足が66%だった。内容が多岐にわたり時間が足りなかった講座があり、受講者が期待していたテーマが薄くなったとの指摘があったので、改善する。	
		特色ある講座や講座開催方法の取り組み	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20	a:取り組んだ	20
			「ストレスに負けない脳の作り方」では、人間総合科学大学の協力を得て、ストレスが人間に及ぼす影響や感じ方について、最先端のテクノロジーや科学的側面から学ぶことができた。		聖学院大学准教授による、日本古典文学(源氏物語)の最新研究の成果を生かした事業を開催した。		大人の社会科見学～矢島園工場見学＆お茶の話～では、地域企業と連携しながら学びの機会を提供することができた。今後の日常生活に活かせる講座となった。		新規に人間総合科学大学と連携講座「心身の健康とストレス」及び「埼玉県の巡礼」とジャンルの異なる講座を開催した。		健康増進課と大石食生活改善推進員協議会との連携事業を実施した。		地元の聖学院大学や食生活改善推進員協議会、「金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律」に基づき令和6年4月に設立された認可法人「金融経済教育推進機構」との連携。	
	住民ニーズの把握・見直し	a:全ての事業で実施した	20	a:全ての事業で実施した	20	b:80%以上の事業で実施した	10	a:全ての事業で実施した	20	b:80%以上の事業で実施した	10	a:全ての事業で実施した	20	
		講座実施後のアンケート結果を基に、住民ニーズの把握に努め、来年度以降に計画する事業に反映させたい。		各講座終了後に行うアンケートを結果を共有して、住民ニーズを把握し、以後の事業計画に活かすよう務めた。		講座実施後のアンケート結果を基に、市民ニーズの把握や課題の改善に努め、来年度以降に計画する事業に反映させる。		講座実施後のアンケート結果を基に、住民ニーズの把握に務めた。今後の講座の見直しに反映させ、来年度以降に計画する事業に活かしていきたい。		アンケート調査を継続して実施し、市民ニーズの把握を行い、事業計画に反映させる。		アンケートをもとにニーズを把握し、次年度計画に反映させており、継続していく。		
評価・合計点数		A:80点以上	100	A:80点以上	100	A:80点以上	90	A:80点以上	100	A:80点以上	90	A:80点以上	90	